

## 質 問 回 答

2022 年 7 月 4 日

「モロッコ国 上水道セクター支援のための情報収集・確認調査（一般競争入札（総合評価落札方式）」  
（公告日：2022 年 6 月 22 日／22a00241）について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P. 2 第1章 3. (4) P. 14 第2章第6条 (1) (エ) P. 19 第3章 2 (2)	現地作業は 3.6 人月で渡航回数は延べ 2 回となっていることから、1.8 人月／回と理解します。 契約が 8 月上中旬と想定すると、上記現地調査期間の後、ファイナルレポートの提出時期として 2022 年 11 月上旬は難しいのではないかと考えます。ファイナルレポートの提出時期は契約期間内(2022 年 12 月)ならば 1 か月遅らせる等の変更は可能でしょうか。	遅くとも 11 月中には提出いただきたいと考えています。
2	P. 2 第1章 4. (3) P. 5 第1章 8. (2)3), (3), (4)	別見積書の提出について記載されていますが、本件では別見積りは無いとの理解で良いでしょうか。 別見積りがない場合、P.5 に記載の見積書(本見積書)の提出(メール送信)は不要との理解で良いでしょうか。	別見積の指定はありません。入札説明書上の「別見積」の記載はすべて削除します。
3	P. 5 第1章 8. (4) 提出書類	技術提案書と別見積書の提出が求められていますが、どのような費目が別見積書の対象になりますでしょうか。	同上
4	P. 11 第2章第4条(1)	「特に直近の上水道案件(地方都市上水道整備事業、フェズ・メクネス地域上水道整備事業)の内容は重点的にレビューし、同事業から導かれる教訓及び残されている課題を整理する。」とありますが、これらの事業は完了していますでしょうか。これらの事業事前評価報告書は確認できていますが、完了して	これらの事業は完了しておらず、事後評価報告書等の共有はできません。 主に先方実施機関や JICA 事務所等へのヒアリングを想定しています。

		いれば、事後評価報告書等は共有していただけますでしょうか。	
5	p13~14 第2章第6条報告書等 (ウ)ドラフトファイナルレポート(DF/R)、(エ)ファイナルレポート(F/R)	和文レポートについて、DF/Rでは、「和文」となっておりますが、F/Rでは「和文要約」となっております。DF/R及びF/R共に「和文要約」という理解で宜しいでしょうか？	DF/R及びF/R共に和文と修正させていただきます。 従いまして、該当箇所は以下のとおり訂正させていただきます。 ⑤和文(製本版)3部(JICA) ⑥和文(CD-R)3セット(JICA)
6	P.19 第3章2.(2) (内訳)現地作業:3.60人月(現地渡航回数:延べ2回)	現地渡航回数は延べ2回とありますが、その対象について教えてください。P.11の「(3)JICAによる協力量案の提案」にて「現地調査期間の一部に、ファクトファインディングミッションとしてJICA本部の職員等からなる調査団派遣が想定されており、本契約による業務従事者だけでは得られにくい情報を収集するためにも、当JICA本部の調査団に同行し、必要な情報を収集・分析・整理」とあります。このことから、現地調査に業務主任者/上水道および維持管理の2名が各1回現地渡航し、P.13の「(4)上水道整備に向けた協力量案・活動(案)を提案・協議する。」および「(6)ファイナルレポート作成に向けた協議」については、オンライン会議を想定するという理解で良いでしょうか。	業務主任者/上水道および維持管理の2名が各1回現地渡航することを想定しています。なお、2名の渡航時期は必ずしも重複していただく必要はありませんので、プロポーザルにてご提案ください。 また、ファクトファインディングミッションは9月を予定しています。 そのため、現地渡航期間内に「(4)上水道整備に向けた協力量案・活動(案)を提案・協議する。」は渡航期間内に可能かと思われると思いますが、「(6)ファイナルレポート作成に向けた協議」が渡航期間内にできない場合は、オンライン会議でご対応ください。
7	P.19 第3章2.(4) 【業務従事者:担当分野 維持管理】 1) 類似業務経験の分野:上下水道の維持管理(上水道分野を主とする)	情報収集・確認調査において上下水道の維持管理を類似業務とする場合、具体的にどのような業務が類似業務経験と見做されるでしょうか。	維持管理に関する基礎情報を収集・分析していただくことを想定しているため、上下水道案件の維持管理に関する経験を類似業務経験として想定しています。

8	P. 19 第3章 2. (4)	<p>経理処理ガイドラインには「通訳については、企画競争説明書等で業務従事者の「語学能力」として指定した言語と日本語との間の通訳に係る経費は計上を認めません。」とあります。本件では評価団員2名の語学能力として「英語(仏語ができるとう望ましい)」となっております。</p> <p>本件の入札予定価格設定においては、下記のいずれかが採用されていますでしょうか。</p> <p>①直接経費の通訳備上費(本邦で通訳を備上し、業務対象国へ帯同する場合の通訳備上費)にて本邦仏語通訳予算が計上されている</p> <p>②直接経費の中の一般業務費の特殊備人費として、現地人通訳費にて現地仏語通訳予算が計上されている。</p> <p>③(評価技術者に仏語能力を求めているため)通訳経費は計上していない。</p>	<p>本案件では、以下を採用しています。</p> <p>②直接経費の中の一般業務費の特殊備人費として、現地人通訳費にて現地仏語通訳予算が計上されている。</p>
9	P. 19 第3章 2. (5) 1) 配付資料 3 「優先プロジェクトリスト案」	<p>1) この資料の左上に”ONEE-WATER BRANCH Mar-22”とありますが、ONEEが作成したという理解でいいでしょうか。</p> <p>2) タイトルに”JICA Long List”とありますが、JICAに要請済ということでしょうか。それとも要請を予定しているということでしょうか。</p> <p>3) コストの欄の KDH HT とは何の略でしょうか。</p> <p>4) State of progress (maturity)の欄に”Ongoing ODA”とありますが、これはどういう意味でしょうか。</p>	<p>1) ONEE 作成の資料です。</p> <p>2) 2022年3月時点で ONEE より JICA に提出されたものです。</p> <p>3) 1,000 モロッコディルハム(税別)の略です。</p> <p>4) ‘Etat d’avancement (maturite) の欄には”Ongoing ODA”の記載はありませんが、ONEE による各種調査の進捗が記載されています。表の下の補足説明もご覧ください。</p>

以上